



TITLE:

英吉利ノ農政問題(一)

AUTHOR(S):

河田, 嗣郎

---

CITATION:

河田, 嗣郎. 英吉利ノ農政問題(一). 經濟論叢 1915, 1(2): 237-251

ISSUE DATE:

1915

URL:

<https://doi.org/10.14989/126882>

RIGHT:

大正四年六月二十一日第三種郵便物認可  
(毎月一回一日發行)

京都帝國大學法學科大學

# 經濟論叢

第二號

第一卷

大正四年八月一日

## 論說

●大藏省證券ヲ論ズ

●夫婦婚姻年齡ノ組合セ

●でぐゐつごひゆゝむノ經濟學說(二)

## 雜錄

●下層金融ト國民性

●英吉利ノ農政問題(二)

●米ノ豐凶ト米價

●よるさす人口論初版以下各版ノ差異

## 雜報

●佛國ニ於ケル人口趨勢ト之ニ對スルノ政策

●對露貿易伸張ノ餘地

●電氣事業ノ國家獨占

●職業ノ分岐併合ノ一例

●穗積博士還曆祝賀會

●れきしす教授逝ク

●帝國人口統計ノ描畫圖

禁轉載

法學博士 小川郷太郎

教授 財部靜治

法學博士 福田德三

法學博士 神戸正雄

助教授 河田嗣郎

講師 高田保馬

法學博士 河上肇

法學博士 神戸正雄

助教授 河田嗣郎

法學博士 神戶正雄

法學士 本庄榮治郎

法學博士 小川郷太郎

教授 財部靜治

教授 財部靜治

層金融組織ハ發達困難トイフ形勢デアル。夫ノ國民性ノ缺點ガ種々ノ方面ニ不満足ナル結果ヲ示シテ居ルガ、特ニ此下層金融ノ方面ニモ著シク現ハレテ居ル。日本人ノ道德ガ遙カニ歐米人ノ其ノ上ニ在リナドト自惚ルルコトヲ止メタガ良イ。日本人ノ道德ニモ美點ナシトイフノデハナイガ、缺點ガ確ニ有ル。其缺點ヲ反省シ改變シ、以テ諸般ノ改善ヲ計リ、特ニ此方面ノ改革ヲモ計ルヘキデアル。下層金融ガ甘ク行ハルルコトニナルヤ否ヤトイフコトハ、實ニ我等ノ如キ社會ノ局外ニ立ツテ靜カニ事物ヲ觀察シテ居ル者ニ取ツテハ、洵ニ興味アル一問題デアル。之ヲ以テ日本ノ國民性ノ狀態及其改進ノ度合ヲ判斷スルノ材料トスルコトモ出來ル。吁。

## 英吉利ノ農政問題（二）

助教授 河田 嗣 郎

英國ニ在ツテハ人口ノ八割ハ都會ニ居住シテ居リ、農村荒廢シテ農業生産衰へ、國民食料ノ大部分ハ之ヲ外國ヨリノ輸入ニ仰ガナケレバナラヌ狀態デアリ、爲ニ社會關係ニ於テモ、經濟關係ニ於テモ、種々不都合ナ狀態ヲ呈シテ居ルコトハ廣ク世ニ知ラレタ所デアル。特ニ現時ノ如キ戰局ニ際シテハ國民食料ノ問題其他カラシテ、英國ノ這ノ狀態ハ頗ル研究ヲ要スル緊要ノ問題トナツテ來、一段ト世ノ注意ヲ惹クニ至ツタノデアル。予輩ハ此所ニ數アル英國ノ農政問題ノ中デ最も重要ナ數點ニ就テ攷察ヲ試ミテ見タイト思フ。之ニ依テ農政上ヨリ見タル英國現時ノ狀態ヲ髣

髣セシムルコトガ出來レバ幸デアル。

## 一 農業ノ衰頹

英國ノ農業ガ著シク衰微ノ徵ヲ呈シテ來タノハ前世紀ノ七十年代及ビ八十年代以來ノコトデアツテ、爾來農業人口ハ比年減少シテ止マズ、耕地ハ多ク牧場ニ化シ、作物植付面積ハ著シク減少シ、主要食料品ノ國產不足ハ年ト共ニ多キヲ加フルニ至ツタノデアル。斯クテ現時ニ在ツテハ一九一一年ノ調査ニ於テ英<sup>イギリス</sup>蘭土及ウゑゐるすノ總人口三千六百七萬四千九十二人ノ中、都市居住者ノ數二千八百十六萬二千九百三十六人ニ對シテ田舎居住者ノ數ハ僅カニ七百九十萬七千五百五十六人ヲ算スルニ過ギナイ有様トナツテ來タ。即チ人口ノ七割八分ハ都市ニ住シ二割二分ダケノモノガ田舎ニ住フ狀態ナノデアル。

試ニ前世紀ノ後半以後ニ於ケルいんぐらんど及ウゑゐるすノ都鄙居住人口ノ總數ト歩合トヲ各十年ノ調査ニ據テ示シテ見レバ左ノ如クデアル。又以テ如何ニ急速ノ割合ヲ以テ田舎人口減少シ都會人口増加シタカラ窺フコトガ出來ルト思フ。(統計ハ一九一一年ノ人口調査ニ依ル。(Census of England and Wales, 1911. Vol. I. CD. 6258. 1912)

人 口		對總人口歩合	
總 數			
いんぐらんど 及ウゑゐるす	都會人口	田舎人口	都會
一八五一	1,731,703	6,720,603	50・二
一八六一	1,070,214	5,104,113	45・六

一八七一	三、七二二、二六六	四、〇四一、四〇四	八、六七〇、八六三	六二・八	三六・三
一八八一	三、五八七、四四九	三、六三六、六〇四	八、三三七、七九三	六七・九	三三・一
一八九一	三、〇〇一、五三三	三、〇八九、八〇四	八、一〇五、〇三三	七三・〇	三〇・〇
一九〇一	三、三三七、八四三	三、〇〇八、八五五	七、四六九、四八八	七三・〇	三三・〇
一九一一	三、〇四〇、四九三	二、六二二、九三六	七、九〇七、五五五	七六・一	三二・九

註||一八五一—一八七一ノ調査ニ於ケル都鄙面積ノ區別ハ推定ニ依ルニ過ギナイ。

更ニ觀察ヲ狭クシテ、農業ニ従事スル者ノミニ就キ其ノ男子ノ總數ト女子ノ總數ト、之ガ男子總人口數及ビ女子總人口數ニ對スル歩合トヲ示セバ、實ニ左表ノ如ク興味アル數字ヲ見ルコトガ出來、頗ル以テ農業従事者ノ減少ノ勢顯著ナルニ驚カサルルノデアル。

從農男子數	對男子總人口歩合	從農女子數	對女子總人口歩合
一一八五	一、五四四、〇八七	三三・五	一六八、六五三
一八六一	一、五五九、九六五	二二・二	一一五、二三三
一八七一	一、七三二、三〇四	一六・八	八五、九六七
			一・〇
			一八八一
			一、二八八、七三三
			一八九一
			一、三三三、九三六
			一九〇一
			一、二五二、八八五
			九・五
			三八、九六三
			〇・六
			〇・四
			〇・三

註 男女總人口八十歲以上ノ者ノミヲ含ム

註||男女總人口ハ十歳以上ノ者ノミヲ含ム

右表ノ示ス所、男子ニシテ農業ニ従事スル者ノ減少モ驚ク可キモノデアルガ、女子從農者ノ數ノ減少ニ至ソテハ更ニ驚クニ足ルモノガアル。洵ニ現今ニ在ツテハ英吉利ノ田舎ヲ旅行シテ女子ガ野良デ働イテ居ルノヲ見ルコトハ殆ンド皆無ト云フテ可イ位デアル。何レニシテモ、現今我國デハ猶ホ人口ノ六割ハ農業ニ従事シテ居リ、英吉利ニ亞デ農業衰微ノ勢ヲ呈シツツアル獨逸デスラ最近猶ホ二割八分強ノ人口ハ農業ニ與ハツテ居ルノト併セ攷ヘテ見レバ、如何ニ英國農業ノ衰ヘ

タルカラ察スルコトガ出來ル。(獨逸ノ農業人口ハ總人口中一八五〇年ニ於テ六割五分、一八七

〇年ニ於テ四割七分、一八九九年ニ於テ三割二分、一九一二年ニ於テ二割八分六厘)

翻テ之ヲ耕地面積ニ照シテ見ルモ、一八五三—一八六〇年以來一八八三—一八八六年ニ至ル間ニ於テ、小麥ノ作付面積ハ百五十九萬「エーカー」ヲ減ジ、小麥收穫量ノ減少ハ四千萬「ブッシェル」ニ達シタノデアル。大麥、燕麥、豆其他ノ春作物ノ作付面積モ五十六萬「エーカー」ヲ減ジタ。而シテ先ニ耕地デアツテ漸次耕作セラレナクナツタ土地ハ皆化シテ『永久牧場』トナツテシマツタノデアル。甚シキニ至ツテハ全ク荒蕪地ト化シテシマツテ貴族ヤ大地主ノ獵場トセラレ、雉子ノ林トセラルモアレバ鹿ヤ兎ノ蹶扈跳躑スルニ委セラレタノモ少クナイノデアル。斯クテ一八八五年以後ノ狀態ニ就テ見レバ事情ハ更ニ劣惡ニ向フバカリデアツテ、同年ノ穀物作付地面積八百三十九萬二千「エーカー」、然カモ其後十年一八九五年ニ於テハ此面積ハ減ジテ七百四十萬「エーカー」トナリ、十年間ニ於テ約一百萬「エーカー」ノ減少ヲ來シタ。今之ヲ各種ノ耕地全體ニ涉ツテ見レバ、一八八五年以後一九一一年ニ至ル間ノ減少實ニ左ノ如ク夥シキモノデアル。

一八八五年.....一七、〇一、四九〇<sup>エーカー</sup> 一九〇五年.....一四、七九五、五七〇<sup>エーカー</sup>

一八九五年.....一六、六六、九五〇 一九〇九—一一年.....一四、六八、五五〇

即チ過去四半世紀間ニ於テ耕地ハ實ニ二百五十萬「エーカー」ヲ減ジタノデアツテ、其ノ減少シタ地面ハ化シテ『永久牧場』トナリ、其ノ面積ハ一九〇九—一一年ノ調査ニ於テ總計一七、四六〇、〇〇〇「エーカー」トナツタ、耕地總面積ヨリモ廣キコト二百七十八萬「エーカー」。亦以テ驚クニ堪ヘタリト謂ツ可キデアル。

斯クテ現時ニ在リテハ英吉利全土ノ面積中可耕地約六割デアルノニ、現ニ耕作セラルル土地ハ其半ニモ達セズ、穀物作付地ハ漸クニシテ又其ノ現耕地ノ半ニ垂ンタルニ過ギナイ有様デアル。之ヲ圖表シテ見レバ一九一〇年ノ狀態左ノ如シ

(Agricultural Returns of the Board of Agriculture and Agricultural Statistics for 1911. Vol XLVI. Pt. I.)

總面積	英 <sup>ギ</sup> ク <sup>ニ</sup> 〇四、〇〇〇	エーカー
不可耕地	一四、八五七、〇四〇	(三六%)
可耕地	三三、一四三、九六〇	(五七%)
就中		
永久牧場	一、七四七、〇〇〇	(五%)
現耕地	一四、六八八、九六〇	(四六%)
就中		
耕作地	一、〇四四、四一〇	(三%)
成熟牧草地及 牧草地及果樹園	四、一五七、〇三〇	(二六%)
休耕地	三、九四八、九二〇	(二七%)
ホップス作地	三三、八九〇	

之ヲ歩合ニ依テ示シテ見ヤウナラバ、總面積一〇〇〇「エーカー」中可耕地ハ五六五「エーカー」デアツテ、就中二〇八「エーカー」ハ永久牧地トナツテシマツテ居ルノデ、現ニ耕サレテ居ル土地ハ僅ニ二五七「エーカー」ニ過ギズ、其中デ穀物ノ作付ヲ見ルモノハ實ニ一二四「エーカー」ヲ出デナイノデアアル。我邦ノ狀態ナドト比較シテ之ヲ致フレバ良ニ一驚セザルヲ得ナイ所デアアル。

## (二) 食料供給ノ狀態

過去半世紀ノ間ニ於ケル英國農業衰頹ノ狀況ハ右述ルガ如ク顯著デ、其勢ハ驚ク可ク急速デア

ツタ。從テ之ヲ國民食料ノ上カラ見テモ國產ノ不足ハ年ト共ニ其量ヲ増シテ來、終ニ全需要ノ一部分シカ國產デ以テ之ヲ充テテ行クコトガ出來ナクナリ、特ニ麵包原料ニ於テ其最モ甚シキモノアルヲ見ルニ至ツタ。即チ一八五〇年代ニ在ツテハ小麥ノ如キ、國產ハ以テ全消費ヲ掩フニハ足ラナカツタケレドモ、ソレデモ全需要量ノ四分三ハ國內生産ニ依ツテ供給セラレ、残り四分一ダケヲ輸入ニ仰ゲバ可カツタノデアルガ、一八八〇年代ニ至ツテハ國產ハ僅カニ全需要ニ對シ三分一ダケヲ充スヲ得ルニ過ギナイ狀態トナツテ來、現今ニ在ツテハ實ニ僅カニ其ノ五分一ヲ供給シ得ルニ過ギナイコトト爲リ果テタノデアル。

小麥以外ニ在ツテハ其ノ不足ノ狀態ハ小麥ニ於ケルホド甚シクハナイケレドモ、肉類ニシテモ鶏卵類ニシテモ果實類ニシテモ、輸入ハ遙カニ國產ヲ超スノ有様デアリ、牛乳及ビ其製品、野菜類ノ如キニ至ルマデ、輸入ガ國產ニ超過コソセザレ、英國ガ其ノ輸入ノ爲メニ拂ツテ居ル金額ハ實ニ夥シキモノデアル。

仍テ今予輩ハ英國ニ於ケル食料供給ノ狀態ニ就テ大體ニ於ケル國產ト輸入トノ比較ヲ試ミヤウト欲スルノデアルガ、輸入ノ方ハ貨物ノ各種類ニ付キ其量其價ヲ知ルコトハ容易デアリ且ツ可也正確ナ數字の計上ヲ爲スコトガ出來ルケレドモ、國內ノ生産ノ方ニ在ツテハ斯カル正確ナ數字の調査ヲ試ルコトガ至極困難デアル。從テ之ニ關スル數字ハタダ根據アル推測ニ外ナラヌコトヲ一言セナケレバナラヌ。左ニ R. H. Rev. 氏ノ公ニシタ所ニ從テ先ヅ主要食料品ノ國產ト輸入トノ價格上ノ供給高ノ比較ヲ總括シテ示シ、次デ各食料品ニ付テ簡單ニ其ノ供給上ノ關係ヲ講究シテ見ヤウト思フ。



一九二一年ニ於テ英國ハ左表ノ如キ供給ヲ受ケタ、

	國產額 百萬円	輸入額 百萬円	合計 百萬円	國產歩合 %	輸入歩合 %
小麥(穀及ビ粉).....	100	480	580	17	83
肉類.....	780	50	1,280	60	40
鳥肉、鶏卵、野獸肉等.....	150	100	250	60	40
魚類.....	20	30	110	18	82
牛乳及ビ其製品.....	430	350	780	55	45
果實.....	60	160	220	27	73
野菜.....	100	40	240	42	58
計.....	1,800	1,260	3,060	59	41

即チ右七種ノ主要食料ニ就テ見レバ其ノ金額ニ於テ輸入ハ僅カニ國產ヨリモ少イケレドモ臆テ先ヅ兩者相半スルノ形デアル。タダ攷フ可キコトハ之等ノ輸入品ハ大抵國產ヨリモ價格低廉ナルヲ常トスルノデアルカラ、輸入ハ其ノ總金額ニ於テハ國產ヨリハ小デアツテモ、其ノ實物ノ量ニ於テハ却テ大デアル可シト信ゼラルル理由アルコト之デアル。

ソハ兎モ角トシテ、進ンデ各主要食料品ニ付テ夫々其ノ供給關係ヲ講察シテ見ヤウナラバ、先ヅ主要第一ノモノタル小麥ニ在ツテハ、一九〇七—一一年ノ五ヶ年平均ニ於テ、其ノ輸入額ハ實ニ年々平均四億六千五百萬圓ニ上ボリ、人口一人宛拾圓ト云フ驚ク可キ額ヲ示シタ。之ニ國產ヲ加フレバ其額五億四千萬圓ニ上ボル計算トナルトセラルルノデアル。翻テ之ヲ其ノ供給ノ出處ニ就テ見レバ、左表ノ示スガ如ク、一九〇七—一一年五年平均ニ於テ總供給量ノ三割一分五厘ハ加奈陀以下ノ英國領土ヨリ輸入セラレ、之ニ國產ヲ加ヘテ五割六厘ハ英帝國ヨリ、残り四割九分四

厘ハ諸外國ヨリノ輸入ニ仰グ有様デアル。先ヅ輸入二分一、帝國內ノ供給二分一ト見テ大過ナイノデアル。(左表單位ハンドレッドウエート)

	一九一二年		一九〇七—一一年平均			一九一二年		一九〇七—一一年平均	
	百萬	%	百萬	%		百萬	%	百萬	%
英本國	元、二九	三〇・七	英、八三	一九・一	るーめにや	二、〇六	一・五	一、五二	一・一
濠太利	一四、五五	一〇・三	一〇、九元	七・五	露西亞	一、八一	一・八	一、六〇	一・六
加奈陀	一八、九一	一四・四	一八、七	一三・一	北米合衆國	三、〇〇五	三・三	二、七六	一九・四
印度	二〇、二五	一五・三	一五、八	一〇・五	他ノ諸外國	二、五五	一・八	二、九	二・六
他ノ英領	〇、七五	〇・五	〇、四	〇・三	計	一、五二	一〇〇・〇	一、四六	一〇〇・〇
あるぜんちん	一四、八七	一〇・五	一〇、八二	一四・九					

次ニ食料トシテノ重要ノ程度ニ於テ麵麴ニ優ルトモ劣ルコトナキ肉類ニ就テ見ルト、英國人ノ主トシテ食用ニ供スルハ牛肉デアツテ、其ノ消費ハ肉類ノ全消費ニ對シテ四割四分ヲ占メテ居ル。次ハ豚肉デアツテ其ノ消費歩合ニ割三分、次ハ羊肉デアツテ二割三分ノ消費歩合ヲ示シテ居ル。而シテ其ノ英國内ヨリスル供給ハ全體ノ半分少シ以上デアリ他ノ半分ハ植民地及ビ他ノ外國ヨリノ輸入ニ待ツノデアル。先ヅ之ヲ價格ニ就テ見レバ一九一一年ニ於ケル肉類(豚脂ヲ含ム)ノ總輸入高ハ五億貳千萬圓ニ達シ、就中四億五百萬圓ホドノ物ハ外國カラ輸入シ、壹億壹千五百萬圓ホドノモノヲ加奈陀其他ノ英領カラ輸入シタノデアル。翻テ之ヲ重量ニ就テ見レバ其ノ供給先ト各々ノ供給量ト歩合トハ左表之ヲ示スガ如クデアル。(單位ハンドレッド・ウエート)

	一九一二年		一九〇七—一一年平均	
	百萬	%	百萬	%
英本國	元、〇〇	五四・五	元、二六	五五・五
丁抹	二、四三	四・六	二、一〇	四・三

濠太利	三・五	一・六九	三・三	和蘭	〇・七九	一・五	〇・六〇	一・七
加奈佗	一・〇〇	一・九	一・三	北米合衆國	六・〇四	一一・五	七・九四	一五・一
新智蘭	二・三〇	四・五	二・四	他ノ諸外國	〇・八一	一・五	〇・六三	一・三
あるぜんちん	八・四五	一五・九	六・七	計	五五・八	一〇〇・〇	五二・五	一〇〇・〇

次ニ鶏肉、卵其他ノ鳥肉ニ付キテハ、其ノ輸入一九一一年ニ於テ約壹億圓ヲ算シテ居ル。而シテ英國内ノ生産ニシテ販賣セラタタモノ約五千萬圓、販賣セラレズシテ其儘消費ニ向ケラレタルモノ凡ソ壹億圓ト見積ルコトが出来ルトノコトデアルカラ、合計總消費ガ貳億五千萬圓、從テ國産ハ凡ソ其ノ六割ヲ占メルコトニナルノデアル。

次ニ麵麴ト肉トニアデ重要ナノハ牛乳及ビ其製品デアルガ、之ハ一九一一年ニ於テ其ノ輸入高「バター」及「マルガリン」二七〇、六二〇、〇〇〇圓、「チース」七一、四〇〇、〇〇〇圓、生乳二〇、七一〇、〇〇〇圓デアル。此額中カラ輸出額ヲ控除シテ見レバ、結局右三者合計參億五千貳百拾壹萬圓ダケノモノガ不足トシテ輸入セラレタコトニナル。而シテ英國内ノ「バター」生産ハ凡ソ壹億參千萬圓ト測定セラレ總供給ノ三割ダケノモノシカ國內ニ生産シナイコトナツテ居ル。輸入ハ丁抹凡ソ二割三分、和蘭凡ソ一割三分、濠太利凡ソ一割二分、露西亞凡ソ八分、新智蘭凡ソ四分ト云フ割合デ行ハレテ居ル。英國デハ近年「バター」ノ消費ガ漸次減少シテ生乳ノ消費ガ増加スル傾向ガアリ、生乳ハ九割五分迄ハ内國ノ供給ニ待チ、殘餘ノ不足量ヲ外國ノ輸入ニ仰グ状態デアツテ輸入ハ和蘭ガ半以上ヲ瑞西ガ四分一バカリヲ送ル有様デアツタ。

要スルニ英國ニ在ツテハ農業衰微ノ結果食料品ハ國産頗ル需要ニ不足シ、右述ルガ如キ夥シキ割合ノ輸入ヲ行ハナクレバ到底需要ヲ充シ得ズ、國民ハ其ノ食料ノ半ヲ外國ニ仰イデ居ル。云ヒ

換ヘテ見レバ之ハツマリ國民ノ半數ハ外國ノ食料供給ニ依テ生キテ居ルトモ云ヘバ云ヘナイコトモナイノデアル。一國ノ經濟狀態トシテハ太ダ變態タルヲ免レヌ。

### (三) 勞働者ノ生活難

右予輩ハ英國ニ於ケル農業一般ノ狀態ト其ノ生産力トニ關スル觀察ヲ試ミ、其ノ衰微ノ程度ニ就テ大體ノ様子ヲ知り得タノデアルカラ、今度ハ少シク觀點ヲ進メテ、斯カル農業狀態ノ下ニ生産ニ與ハツテ居ル勞働者ノ有様ニ就テ述ベテ見タイト思フ。即チ主トシテ農業勞賃ト勞働者ノ生計狀態トヲ攷察シテ見タイト思フノデアル。

英國ノ農業勞働者ハ、其ノ勞賃ニ就テ之ヲ金額ノ上カラ歐大陸諸國、就中獨逸ナドノ農業勞働者ノ勞賃ト比較シテ見レバ、決シテ劣ツテハ居ラス。ケレドモ之ヲ生活資料其ノ價格等ノ上カラ推シテ考ヘテ見レバ、其ノ生計狀態ハ必ズシモ優良デナイノデアツテ、勞賃ノ實所得カラ見テモ、住居ノ狀態ナドカラ見テモ、頗ル研究ス可ク改良ス可キモノ鮮カラザル有様デアル。

先ヅ勞賃ヨリ入ツテ研究ヲ進メル。英國ノ農業勞働者ハ其ノ勞賃ハ、普通一週間決メデアツテ、大抵二週間毎ニ之ヲ受取ル仕組ニナツテ居ル。而シテ其ノ勞賃ノ高ニ至ツテハ、地方ニ依リ頗ル逕庭アリ、蘇格蘭、愛蘭、ウヰルズ、英蘭ト異ルニ依リテ高下アルノミナラズ、同ジ英蘭内ニ在ツテモ、北部地方ト中部地方ト南部地方トニ依テ又少カラザル差別ガアリ、南部ニ在ツテハ又東南部ト西南部トハ頗ル相同ジカラザル次第デアル。之ヲ例示スレバ普通勞働者ノ一週平均勞賃北部地方デハ十九志二片デアルノニ西南部地方デハ十六志十片ニ過ギナイト云フタ様ナ風ナ

ノデア。而シテ又勞賃ハ之ヲ貨幣ニ於テ受取ル所ノモノ以外ニ住家ヲ供給セラレ、牛乳ヤ石炭ノ類ヲモ供給セラルノガ例デアリ、其ノ習俗ハ地方ニヨリ多少ヅ、異ツテ居ルノデア。試ニ之ヲ英蘭ニ就テ見レバ、此ノ實物給與ハ平均ニ於テ凡ソ總勞賃ノ六分一ヲ占メテ居ル。而シテ又勞賃ハ勞働ノ種類ノ異ルニ從テ相違スルヤ勿論ノ義デアツテ、普通ノ農作ヲ爲ス者ト牛飼ヤ牧羊者ノ受クル所ハ各々少カラズ其ノ額ヲ異ニスル。

今 The Board of Trade Fifteenth Abstract of Labour Statistics. CD. 6228. 1912; The Board of Trade Report on the Inquiry into Earnings and Hours of Labour, CD. 5460. 1907 ナドノ示ス所ニ從テ勞賃一般ヲ見ルニ、先ツ英蘭及ウニ於ケル平均勞賃ノ階級ト之ヲ得ル勞働人員トハ左表ノ如クデア。ル。

平均勞賃	各種勞働者總數	歩合	普通勞働者數	歩合
十六志以下	三〇、一二三	七・五	三〇、一二三	二・六
十六志以上十七志以下	八、一〇六	一七・一	二七、二六九	二・六
十七志以上十八志以下	五、八二四	二・二	五、八六三	一・六
十八志以上二十志以下	一〇一、四二〇	四・一	一〇一、一三九	三・五
二十志以上	四、四八六	九・五	四、五八六	一・一
計	一四七、七六〇	一〇〇・〇	二六、九六七	一〇〇・〇

註 本表ノ勞働者ハ二十歳以上ノ男子ニ限ラレタリ

次ニ之ヲ勞働者ノ種類ニ依リ其受クル平均勞賃ト勞働人員トヲ示シテ見レバ、英蘭ニ於テ

勞働者ノ種類	勞賃	(現金勞賃)	人員	對總農民歩合
牧羊者	七元七片	(二五・二二)	三五、二六九	二・六

牛 飼 人	一九	一	(一六)	一	八五〇元	八・四
馬 飼 馬 使	一八	九	(一五)	三	一五四・三八三	一五・六
普通 勞 働 者	一七	六	(一四)	六	一五六・三二	一五・〇

註||本表人員モ成年男子ニ限ラレタリ

右二表ニ依リ低キ勞賃ヲ得ル者ノ如何ニ多數ナルカラ知ルニ足リル。然シ右ノ最低平均勞賃ト雖トモ之ハ各地方ノ平均デアルカラ地方ニ依リテ此ノ平均以下ノ地方平均ヲ有スルモノアルハ勿論デアル。おつくすふおーどしやいや平均ハ僅ニ十二志十一片、のるふおるく十二志七片、さつふおるく十二志五片ニ過ギズ、ざるせすたーしやいやニ至ツテハ十二志一片平均ヲ示シテ居ル。

然モ尙ホ此等ノ地方平均モヤハリ平均デアルカラ、其中ニ在ル個々ノ場合ニ就テ見レハ此額ヨリモ少イ勞賃ヲ得テ居ル者ガ少カラヌ筈デアル。假リニ一週十二志トスレバ一日二十片(凡ソ我八拾錢)シカ無イコトトナリ、英國ノ勞賃トシテハ如何ニモ少イ勞賃タルヲ爭ハレナイ。而シテ此ノ金額ハ實物給與ノ見積額ヲモ含ムデ居ルモノタルヲ忘レテハナラヌ。

若夫レ實物ニ依ル給與及ビ Michaelmas money, harvest money, lamb money 等ノ特別給與ヲ除ヒテ、貨幣勞賃トシテ週極メニ受クルモノノミニ就テ見レバ、其額ハ右ニ示ス所ヨリモ遙カニ少ク、英蘭平均ニ於テ普通勞働者十四志六片、馬飼十五志三片、牛飼十六志一片、牧羊者十五志十片ニ過ギナイノデアル。

而シテ勞賃ト引合シテ勞働者ノ生計狀態ヲ知ラント欲スル場合ニハ一家ガ主人ノ得ル勞賃以外ニ何等カノ所得ヲ爲シ得ルコトアリヤ否ヤヲ吟味セネバナラヌノデアルガ、其ノ所得ハ(一)農

業労働以外ノ副業ヨリ(二)女子及ビ少年者ノ労働ヨリ來ルノガ普通デアルノニ、英吉利デハ此ノ兩者共殆ンド見ルニ足ル可キモノガナイ。都會ニ近イ農村ハ副業的收入特ニ婦女子ガ洗濯ヤ其他ノ手工等ニ依ツテ多少ノ收入ヲ得ル機會モ無イデハナイガ、概シテ英吉利デハ佛蘭西ナドノヤウニ農家ノ副業ガ廣ク行ハレテ居ズ、所謂家内工業モ盛デナイカラ此種ノ收入ハ所詮見ルニ足ル可キモノガナイ。又女子ガ農業ニ從事シテ労働スルコトハ英國デハ餘リ行ハレズ、少年男子ハ又多ク都會ニ出テ仕事ヲ求メントスル所カラシテ、右(二)ヨリ來ル收入モ極メテ僅少デアル。少年男子ハ田舎ニ止ル者ハ勿論大抵父兄ヲ助ケテ野良デモ働クケレドモ、其ノ勞賃ハ頗ル低イモノデアル。タダ斯ル子弟ノ二三者ヲ有スル者ハ其ノ一家ノ得ル勞賃ハ多少裕ニナツテ來生計ノ助トナルハ言フ俟タナイ。

農業労働者ノ得ル勞賃右ノ如ク僅少ナルガ故ニ其ノ生活ハ實ニ程度ノ低イモノデアツテ、住居ト云ヒ食物ト云ヒ衣服ト云ヒ、タダ之ヲ打見タル所ダケデモ日本ノ農村ノ細民ト多ク選ブ所ナキ有様デアル。而シテ近年物價騰貴ノ勢顯著デアツテ、貨幣ノ購買力ハ著シク減少シタガ爲メニ、労働者ノ受クル實際勞賃ハ頗ル少イモノトナツテ來タ。Mr. Chiozza Money ノ調査セル所ニ依レバ一八九五年以來一九一一年迄ノ間ニ於テ貨幣ノ購買力ハ二割ヲ減ジタトセラルル。然ルニ勞賃ハ一般ニ同一期間内ニ一割二分五厘シカ増加セズ、特ニ農業勞賃ニ至ツテハ僅カニ九割六分シカ増加シナイ。斯クテハ良ニ一般労働者特ニ農業労働者ノ生活ハ頗ル困難ニ陥ラザルヲ得ナイ譯デアヌ。Messrs. Seebohm Rowntree and May Kendall ノ調査セル所并ニ The Board of Trade Report CD. 2376 ノ附録トシテ公ニサレタ所ニ依ルト、夫婦ト子供三人トヨリ成ル労働者ノ一家

ガ其ノ生活ニ要スル最低費ハ左表ノ如ク二十志六片若クハ二十二志七片トセラレテ居ル。

	Rowntree-Kendall's		B.O.T.Report		計	Rowntree-Kendall's		B.O.T.Report	
	志	片	志	片		志	片	志	片
食料	一三	九	一三	六	計	〇	四	〇	四
燈火及ヒ燃料	一	四	二	〇		〇	一〇	二	〇
家賃	二	〇	一	六		〇	一〇	二	〇
衣服	二	三	三	三		〇	一〇	二	〇
						〇	一〇	二	〇
					二一〇	六	二二	七	

之ハ讀デ字ノ如ク最低生計必要費デアルカラ、普通ノ大サノ勞働者ノ家族ハ此額以下ノ勞賃ヲ以テシテハ人間ラシキ生活ハ出來ナイ筈デアアル。尤モ右ハ一般勞働者ニ就テノ見積デアアルカラ、農業勞働者ハ田舎ノ物價ノ多少低安ナル結果右ノ金額ヨリカモ幾ラカ少キ額ヲ以テ最低度ノ生活ハ之ヲ爲シ得ル譯ニナツテ來ルノデアアルガ、前ニ示シタ英蘭農業勞賃ハ其ノ平均ニ於テ普通勞働者ハ十七志六片ニシカナラズ最モ勞賃ノ高イ牧羊者デスラ十九志七片シカ得ナイノデアアルカラ、最高平均勞賃ガ已ニ最低生活費ニ足ルヤ足ラズノモノタルニ過ギズ、普通勞働者ノ勞賃ニ至ツテハ終ニ人間ラシキ生活ヲダニ爲シ得可カラザルモノデアアル。亦憐ムニ堪ヘタルモノト云ハナケレバナラス。

サレバ英國ノ農業勞働者ハ之ヲ予輩ガ實地ニ就テ觀タ所ニ徴スルモ、住家ト云ヘバ草葺デ二間カ三間シカナイ敗屋ガ多ク、食物ト云ヘバ朝晩ハ麵麴ニばたー、晝ノ御馳走モ肉類ヲ採ルハ好イ暮シヲスル者デ週ニ三四回、大抵ノ者ハ一週一回位ニ限ラレテ居ル有様デアアル。衣服ハ固ヨリ粗衣弊靴、日曜日ノ寺詣ニ白イ「カラー」ヲ着クルハ好イ方デアアル。多クハ「カラー」無シデ、更



紗木綿ノ「ハンカチーフ」ヲ首ニ卷テ洒灑タ積デ居ル位ノ程度デアル。

要スルニ英吉利ニ於ケル農業勞賃ハ他ノ方面ノ所得ニ比シテ甚ダ少額デアリ、低キニ過ギテ居ルコトハ爭ハレヌ事實デアツテ、勞働者ハ昔日ノ農奴ノ生活ニ似タル因習ト給與トニ今日モ猶ホ捕ヘラレテ居ルノデアル。其ノ社會的地位ト云ヒ、其ノ生活ト云ヒ寧ロ憐ムニ堪ヘタルモノデア  
ル。(次號完結)

## 米ノ豐凶ト米價

講 師 高 田 保 馬

一、きんぐノ法則ノ性質。二、日本ニ於ケル米價曲線ノ算出。三、米價曲線トきんぐノ法則トノ比較。四、米價曲線ノ性質ト岩井屋算盤。五、餘論

### 一、きんぐノ法則ノ性質

供給ノ増減ガ價格ノ上ニ如何ナル影響ヲ及ボスカ。此問題ハ理論上并ビニ實際上ニ於イテ重大ノ意義ヲ有スルニ拘ハラズ、之ニ解答ヲ與フル事甚ダ難シ。蓋シコレ其研究ハ演繹的ナル能ハズシテ徹頭徹尾事實ノ歸納ニヨラザル可カラズシテ、而モ供給價格間ノ關係ヲ數量的ニ調査スル事ノ甚ダ困難ナルニ因ルナリ。研究ニ對スル此障礙ハタダ主要ナル穀物ノ價格ノ場合ニ於イテハ甚ダ